



未来が変わる。日本が変わる。

チャレンジ 25 感謝

サンコー未来夢通信

全員で結果を創る
大樹の経営実践部隊

2012.10. 秋号 vol.13 <http://www.sankobussan.co.jp>

社長挨拶



代表取締役 社長
細川康二

ようやく今年の猛暑も落ち着き、秋らしくなってきました。今年の猛暑を振り返ると節電の夏、水不足の夏でありましたが、最近では尖閣諸島の領土問題、オスプレイ配備等の防衛問題、日本製品ボイコット等の反日問題等の様々な問題も顕在化し、国内外で最も日本が緊張した状態が続く夏であったと考えられます。リーマンショック以降の経済活動もようやく傷が癒える可能性が出てきた頃の新たな火種は、弊社が属しています建設・土木業会の展望に暗い影を落としています。しかし、熟成した経済を力強く生き抜く知恵と能力を持っている日本人はきっと目の前に現れた問題をコツコツ解決し勝ち得ると信じて、弊社は仕事を通して社会貢献しつつ、お客様と共に成果を上げて参ります。弊社の事業領域である住環境資材提供業の中での弊社の重要度を更に高め、少しでもお客様のお役に立ちに貢献できる様、2012年の残りの期間を全力で活動させて頂きます。お客様と共に心豊かな2013年を迎えられるよう、弊社はお客様をサポートして参ります。お客様の御健勝と御活躍が達成出来ますよう、何卒弊社をご用命頂きますようお願い申し上げます。

注
規格外のサポートピン見つかる!!

サポートピンは耐荷重を問う**重要部分**です。

- サポートピンの規格**
- 1 日本工業規格G4051(機械構造用炭素鋼材)に定める**S35C**の規格
 - 2 支持ピンの直径が11.0ミリメートル以上
 - 3 同等以上の機械的性質を有するもの
- ピンを見ただけでは規格品かどうかは判別できません!!

上はピクチャーチェーン式
下はワイヤー式

SANKO

サンコー物産のサポートピンは規格品ですので安心してご利用頂けます。

公共検査機関で成分分析を行い、S35Cの規格以上の分析結果を得ています。

(平成24年7月30日付 定量分析結果)

AED cardioline AED-2150

世界初!操作手順をイラスト表示!!

特徴1 バックライト付3型液晶ディスプレイ搭載
特徴2 操作手順をイラスト表示
特徴3 経過時間/ショック回数をディスプレイに表示
特徴4 心電図変化も見逃さないディスプレイ

AEDリモート監視システム ARM-1000 **AED Linkage**

AED LinkageはAEDの状態を集中管理するシステムです。

心臓突然死は、いつでも誰にでも起こる可能性があります。日本国内において、病院外での心臓突然死は年間約5万人とも言われています。その心臓突然死の原因のほとんどが「心室細動」であり、この心室細動を治す唯一の方法は「電気ショック」です。発作を起こした最初の数分間にAEDを使用して電気ショックをすること、それが命を救うには必要なのです。

サンコー物産は、皆様の健康と安全をお守りできる環境をご提供するために、AEDの複合台設置とリモート管理システムを推奨しております。“5分で約50%の救命率”時間との闘いです

サンコー物産株式会社 大阪市西区南堀江 4-33-29 TEL : 06-6533-1271 FAX : 06-6543-0914

理念 未来を見つめて、慈悲の心と感謝の気持ちで働ける企業を目指します。
未来を見つめて、常に共存共栄の精神で社会に貢献する企業を目指します。



前回は引き続き、平成24年度インターン・シップの受け入れを担当させて頂きました。7月12日(木)大阪府立今宮工科高等学校の機械系男子2名です。素直な良い子達で、この就職難を乗り越えようと、一生懸命な姿に感銘を受けました。今までに見た事が無い商品にビックリしている姿、人の何倍も大きな商品、輸入コンテナから商品を降ろす、フォークリフトを操る作業員の素晴らしいテクニックを堪能していました。機械系といえば生産など作る事に目がいきがちですが、今回勉強した事もあり、物流にも興味を持ってくれました。就職の際には、もっと広い視野で考え頑張っていきたい!! 意気込みも見せていました。最後に彼らからのメッセージを記載させて頂きます。

『色々な事を学ぶ事が出来て、嬉しかったです。短い間でしたが、ありがとうございました』と。

ジュニアインターン・シップ

関西第2営業所 所長 平岩 健三

関西第一営業所 所長 亀野 弘一

自創経営しあわせ塾

革新 素直 責任 約束

半学半教



今年の4月から半年間、「日本創生 自創経営しあわせ塾」という勉強会に参加させて頂きました。塾長は当社の細川三郎会長で、受講生は社内から2名、社外から4名で計6名で毎月最終土曜日に行いました。しあわせ塾の目的通り、

- ①挨拶(よい会社をつくる)
- ②謙虚(よい経営環境をつくる)
- ③質素(よい経営者になる)を習得出来たかは今後の自分自身の行動や発言にて結果は付いて来るでしょう。学んだ事を自分だけのものにするのではなく、会社に貢献出来るようにどのように行動するのかが、今回受講した皆様の重要課題だと思います。私自身は迷ったり困ったりした時に判断出来るように活用したいと考えております。話は変わりますが、この6カ月のまとめとして、皆様に配布できる冊子の作成を考えております。それを見て頂ければ、この研修の目的がもっと具体的に伝え出来ると思います。私たちが、会社に貢献することで、第2回、3回と継続出来るでしょう。第1期生はそれだけ重要な役目が残っています。また今回の仲間が集めれることを楽しみにしています。ありがとうございます。

村岡マラソン 細川真一

2012年9月30日(日)、村岡マラソンに参加してきました。今回で3回目のチャレンジです! このマラソンは、兵庫県の村岡を囲む1000m級の山々を巡る心臓やぶりの山岳マラソンです。種目は100km、88km、44kmの3つですが、今回は15回の記念大会ということで66kmの記念コースが創設されていました。私は当然44kmのエントリーですよ。当日は、台風17号の影響で朝から晩までずーっと雨降り、気温も低く走るには最悪のコンディションで、それにわをかけて今回は練習不足だったものですから、完走できるのか?とても不安でした。でも、地元の人達の熱い応援と各伊豆ごとの美味しい食べ物の甲斐あって何とか完走することができました。来年は事前の準備を万全に、少しタイムを意識しながらチャレンジしたいと思います。雨の中、一生懸命に応援して下さいた地元の皆さんに心より感謝です。



傾聴マネジメント学科『公開講座』を受講して

木田吉建



8月7日、傾聴マネジメント学科の公開講座がありその時の感想を述べさせて頂きます。吉川先生の『しあわせは共に創っていくもの』を主題としてお話があり、内容の興味深さに思わず時間忘れて聞き入りました。先生は実体験を通し会得された“幸せ”をいかにして作るかをわかり易く説明してくださり、その原点がメビウスの理論にある事を教えていただきました。話の中でメビウスとは「同じ=AND」「異なる=OR」を上手く使い分けて一つの目標を達成する手法であり、現在の成熟社会においても繋がりが重要で、共に何かを創り出していく過程でメビウスの理論を実践することは、有効性があるとお話でした。要約だけでしたが非常に興味深くお話を伺う事ができました。時間があるならばもう少し講義を受けたいと思い残念でなりません。

私の提言 『続ける』ということは大変です。でも何か1つでも続けていけば、そこには力が生まれます。 和歌山営業所 所長 辻 朋行